

# 女川町まちづくり ワーキンググループ 瓦版

第 13 号

女川町まちづくりワーキンググループの内容をお知らせします

## 第 13 回女川町まちづくりワーキンググループが 開催されました！



第 12 回のワーキンググループ（以下、「WG」）では、最終報告に向けて選定された 4 テーマに基づき 4 つのグループに分かれて、検討テーマの優先順位や具体的な検討内容について確認を行いました。

第 13 回の今回は、前回グループ毎に確認した検討テーマについて、町の担当者もグループに混ざり一緒に検討しました。開催概要は以下のとおりです。

### 第 13 回 ワーキンググループ 開催概要

第 13 回 WG のグループワークは、第 12 回の検討結果からグループ毎に検討テーマを設定し、中間報告までに検討された内容を踏まえつつ、グループ毎に工夫して進めました。

商業・観光グループと街並み（低地）グループは、両者の視点を盛り込みながら、スポーツ施設の配置について一緒に検討しました。

また、テーマに関係する町の担当者がそれぞれのグループに加わり、町の検討状況や専門的な内容などの情報を提供しながら検討がされたことで、より具体的な議論ができました。

各グループの検討結果は裏面をご覧ください。

- 日時：平成 25 年 1 月 17 日（木）  
18:45～20:45
- 場所：町役場 会議室
- 参加者：21 名

#### ● 当日のプログラム ●

- 1 前回の振り返り等
- 2 提言書（素案）について
- 3 グループワーク
- 4 まとめ



### ● 次回ワーキンググループ開催予定 ●

第 15 回のワーキンググループを、以下の日程で開催します。

- 場 所：女川町総合体育館 2 階剣道場
- 時 間：18:45～20:45
- 開催日：第 15 回 平成 25 年 3 月 7 日（木）

ご多忙の折恐縮ですが、ご参加下さいますようお願い申し上げます。



## ● 各グループの検討結果 ●

各グループの主な検討内容は、以下のとおりです。

### 商業・観光&街並み（低地）

#### 検討テーマ

- スポーツ施設の配置について

#### 主な検討内容

- スポーツ施設は集約化するが、場所は鷺神浜と清水地区に整備することを想定する。
- 外からの来訪者を対象とした大型の施設と地元の人（子供から高齢者まで）が集まれる賑わいのある場所を整備する。
- 人が集まれる場所は鷺神浜に整備し、スタンドは設けず、広場のみとする。グランドゴルフ等の利用も想定する。
- 広場の地盤は、土・天然芝・人工芝等とし、イベント開催時には、イベント会場や臨時駐車場としての利用も想定する。
- 清水地区には、サッカー場、ラクビー場等への外からの来訪者を対象とした施設を整備する。
- ソフトボールと柔道は既存施設を利用する。
- 駅前に観光案内所、ネイチャーセンターを設置する。
- 駅前から雨に濡れずにまちなかを歩けるアーケード等を設ける。

#### 【次回WGに向けた事務局への宿題】

- 震災前の商業施設と公共施設の配置が分かる資料を提示してほしい。

※次回は、商業施設の動線と施設配置について検討します

### 公園

#### 検討テーマ

- 海岸エリアの整備イメージについて

#### 主な検討内容

- 砂場や潮溜まりを造成することは難しいとのことだったため、親水公園としての機能は清水公園に集約することとした。
- 近隣市町村では災害遺構を残さないという方向性にあるとのことだったため、他地域との違いを出すためにも女川町では災害遺構を残すことを前提に議論した。
- 災害遺構を活用するため、遺構ゾーンを設定し、案内板を設置する。また、大型観光バス用の駐車場を隣接させる。
- みなと祭りを開催できるようなイベント広場を設ける。
- イベント広場の国道沿いの場所は、道路側の法面をうまく利用して駐車場とする。ただし、商業ゾーンからは駐車場が見えないよう配慮する。
- 防波堤は釣りゾーンとし、釣具屋・釣具レンタル施設・トイレなどを隣接させる。

※次回は、親水公園・女川の整備イメージについて検討します

### 街並み（高台）

#### 検討テーマ

- 高台住宅地形成の取組みについて

#### 主な検討内容

- 住宅地形成の取組みについて、「造成計画の中で反映すること」と「住民（建て主等）が取り組むこと」に仕分けを行った
- 「造成計画の中で反映すること」については、宮ヶ崎の住宅地をモデルとし、造成計画の地図をベースにアイデア出しを行い、一つの提案を整理する。（例：海が見える場所は、桜の植樹や展望スペースの設置など、地域住民の憩いの場とする など）
- 「住民（建て主等）が取り組むこと」については、壁面の色や生け垣の設置等を強制力をもって行わせるのは難しいため、今回の意見を項目立てして整理する。

※次回は、宮ヶ崎地区の整備イメージについて検討します

## 第13回ワーキンググループのまとめ

今回は、これまでのように参加者のみなさんから自由に意見を出しつつも、今までの検討内容や、他グループの意見、町からの情報などを踏まえながら検討を行いました。そのため、提言としてのとりまとめを見据えた、より具体的・現実的な検討結果を導くことができました。

次回も今回と同様グループ毎にテーマを設定し、引き続き具体的に検討を行います。